

東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ (ESABII) 等の会合結果

環境省自然環境局 生物多様性センター

1. 東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ (ESABII) 政府間会合

(1) ESABII 概要

【目的】

東・東南アジア各国、関係機関の参加のもと、生物多様性条約及び各国の保全施策に必要な生物多様性情報の整備・提供と分類学の能力向上を推進することで、生物多様性条約のポスト 2010 年目標達成のための戦略計画の履行に貢献する。

【これまでの活動】

- 2009 年 1 月 国際シンポジウム・専門家会合開催（東京）、ESABII 戦略案の検討。
 5 月 ASEAN+3 GTI Workshop 開催（フィリピン）。保全のための生物多様性情報と分類学のニーズ把握のためのワークショップ開催。
 10 月 ASEAN 生物多様性会議（シンガポール）において、ESABII 戦略案を紹介。
 12 月 ESABII 政府間会合開催（東京）、参加国・機関による ESABII 推進のための戦略及び 2010-2011 年作業計画を合意。

(2) ESABII 政府間会合の結果概要

日時・場所：2009 年 12 月 12 日～14 日、国連大学エリザベス・ローズ国際会議場

参加者：合計 46 名（内訳：東・東南アジアから 25 名、その他地域から 2 名、国際機関等から 7 名、国内専門家招聘者 6 名、事務局関係者 6 名）

成 果：

【ESABII 推進のための戦略】

下記の成果目標を含む戦略を合意。

① ESABII 活動実施・運営のための体制構築

- ・組織（メンバー、Steering Committee、Expert Group、事務局）とその役割

※ 暫定事務局：日本（2012 年のメンバー会議までに Permanent Secretariat 設置に必要な基本方針案を作成）

② 生物多様性情報の整備

- ・生物多様性情報インターフェイスの構築
- ・ウェブによる情報提供

③ 分類学の能力向上

- ・分類学能力向上プログラムの作成
- ・識別マニュアル等の整備

【ESABII2011-2012年作業計画】

ESABII 戦略履行のため、下記を含む 2011 年及び 2012 年の作業計画を合意。

① 生物多様性情報の整備

- ・ESABII ウェブサイトの作成（環境省・日本）
- ・保全政策においてニーズの高い生物多様性情報の作成（環境省・日本）

② 分類学の能力向上

- ・分類学能力向上プログラムの実施（ACB）

2. アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク (AP-BON) 推進のための国際会議

(1) AP-BON 概要

【目的】

地球規模の生物多様性・生態系変化が問題となっている現在、国際的な生物多様性観測のための枠組み (GEO-BON、ILTER 等) との協力のもと、生物多様性観測のネットワーク構築を促進するとともに、データの収集、分析及び統合化を推進し、生物多様性の変化を的確に把握し、評価することで、地球規模での生物多様性保全に貢献する。

【これまでの活動】

- 2009年 2月 第3回アジア太平洋 GEOSS シンポジウム開催 (京都)。当該地域における生物多様性観測のネットワーク化の必要性を確認。
- 5月 J-BON ワークショップ開催 (東京)。J-BON 結成。
- 7月 アジア太平洋生物多様性観測活動のネットワーク化のための国際ワークショップ開催 (名古屋)。アジア太平洋における生物多様性観測のネットワーク化 (AP-BON) と当該地域の既存データ統合化の検討。
- 12月 AP-BON 推進のための国際会議開催 (東京)。AP-BON の体制、COP10 及び 2011-2015 年の活動計画等について検討。

(2) AP-BON 推進のための国際会議の結果概要

日時・場所：2009年12月10日～11日、国連大学エリザベス・ローズ国際会議場

参加者：合計70名 (内訳：DIVERSITAS、GEO-BON、CBD その他国際機関及び各国からの招聘者49名、国内一般参加者15名、国内政府関係者6名)

結果概要：

【体制】

Chair：矢原徹一 (J-BON 議長、DIVERSITAS)

Steering Committee：Dr. Dedy Darnaedi (LIPI、インドネシア)、Dr. Ma Keping (中国科学院)、Prof. Eun-Shik Kim (Kookmin大学、韓国)、中静 透教授 (東北大学)、白山義久教授 (NaGISA、京都大学)

Secretariat：環境省生物多様性センター

【COP10に向けた活動計画】

- ① アジア太平洋における生物多様性観測の概況出版
- ② データデポジットシステムの構築

3. <<語句説明>>

AP-BON : Asia Pacific Biodiversity Observation Network

(アジア太平洋地域 生物多様性観測ネットワーク)

ACB : ASEAN Centre for Biodiversity

(ASEAN 生物多様性センター)

ESABII : East and Southeast Asia Biodiversity Information Initiative

(東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ)

GEOSS : Global Earth Observation System of Systems

(全球地球観測システム)

GEO-BON : Group on Earth Observation Biodiversity Observation Network

(地球観測グループ 生物多様性観測ネットワーク)

ILTER : International Long-Term Ecological Research Network

(国際長期生態学研究ネットワーク)

J-BON : Group on Earth Observation Japan Committee

(地球観測グループ日本委員会)

NaGISA : Natural Geography In Shore Areas

(海洋生物のセンサス (CoML) の野外プロジェクト)